

## 正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申し上げます（2018年2月19日）

### ■第1版 第5刷（2016年3月1日発行）の修正・更新箇所

#### 第1版 第4刷（2015年2月20日発行）の修正・更新箇所

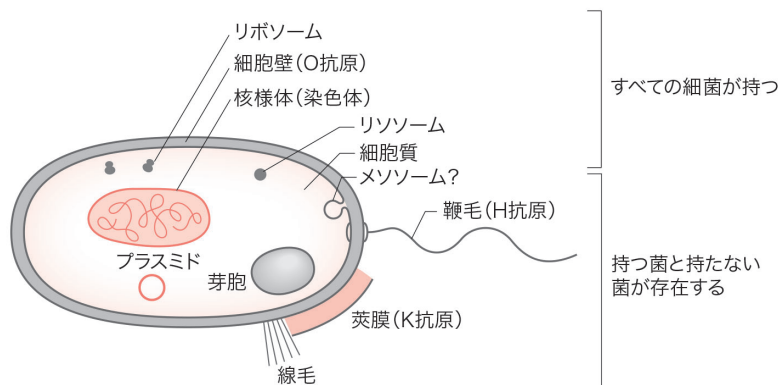
#### 第1版 第3刷（2013年11月25日発行）の修正・更新箇所

※第1刷からの修正箇所は[http://www.yodosha.co.jp/correction/9784758120234\\_corrections.pdf](http://www.yodosha.co.jp/correction/9784758120234_corrections.pdf) をご参照ください

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
2章					
48	図15の⑤	⑤抗体依存性細胞障害	⑤抗体依存性細胞傷害		17/02/24
3章					
65	図7			※1参照	18/02/19
8章					
134	図2			表の差替え※2参照	18/02/19
9章					
149	上部の表	各種リッチケア	各種リケッチア		16/07/25

### 図表

※1



#### ● 図7 細菌の構造

図の下方に示したもの（鞭毛、莢膜、線毛、プラスミド）は菌種によってあるものとな  
いものがあり、菌種同定の指標として用いられる。メソソームの実在を否定する研究も  
ある。

抗菌薬名 (一般名)	抗菌薬 (略称)	(菌種名)		ブドウ球菌	レンサ球菌	肺炎球菌	淋菌	髄膜炎菌	インフルエンザ菌	大腸菌	サルモネラ	赤痢菌	セラチア	エンテロバクター	緑膿菌	バクテロイデス	マイコプラズマ	リケッチア	クラミジア
		MSSA	MRSA																
アンピシリン	ABPC	—	—	○	○	—	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—
セフトキシム	CTX	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—
セファレキシム	CEX	○	—	○	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
セファクロール	CCL	○	—	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
アズスレオナム	AZT	—	—	—	—	○	○	○	○	—	●	○	○	○	●	—	—	—	—
ゲンタマイシン	GM	○	—	—	—	—	—	○	○	—	○	●	○	○	○	—	—	—	—
アミカシン	AMK	○	—	—	—	—	—	○	○	—	○	○	○	○	○	—	—	—	—
エリスロマイシン	EM	○	○	○	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	●	○	○
クラリスロマイシン	CAM	○	○	○	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	●	—	○
ミノサイクリン	MINO	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	○
オフロキサシン	OFLX	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	—	○	—	○
バンコマイシン	VCM	○	●	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

●：有効菌種，○：感受性あり，—：感受性なし。MRSAの薬剤感受性は施設により異なる  
 (『日本語版サンフォード感染症治療ガイド2015 (第45版)』(David NG, 他/編, 菊池賢, 橋本正良/監),  
 ライフサイエンス出版, 2015を参考に作成)

●図2 抗菌スペクトラム表の例